

事後評価調書(案)

I 事業概要																														
事業名	農業農村整備事業(地盤沈下対策事業)																													
地区名	あいさいほくぶ 愛西北部地区																													
事業箇所	あいさいしかつらぎちよう 愛西市葛木町 外																													
事業のあらまし	<p>本地区は、愛西市北西部の木曾川と鶴戸川に挟まれた輪中地域に位置する。</p> <p>本地区の用水路は、1971年度から1976年度に造成されたコンクリート製の開水路であったが、1960年代頃から地下水の過剰採取により地盤沈下が進行し、通水能力の低下が生じていた。</p> <p>このため、能力低下した用水路を改修し、従前の状態に回復することにより、農業経営の安定化を図ることを目的として、2007年度から地盤沈下対策事業を実施し、2018年度に完了した。</p>																													
事業目標	<p>【達成(主要)目標】</p> <p>地盤沈下により通水能力が低下した用水路を改修し、従前の状態に回復することにより、農業経営の安定化を図る。</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																													
事業費	事業費		内訳																											
	20.0億円		■工事費 18.6億円、■用補費 0.6億円、■その他 0.8億円																											
事業期間	採択年度	2007年度	着工年度	2008年度	完成年度	2018年度																								
事業内容	用水路工 L=2.5km																													
II 評価																														
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>能力低下による用水不足が解消され、安定した農業経営が行われている。</p> <p>●主要作物の作付面積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施前(2006)</th> <th>計画</th> <th>現在(2022)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稻</td> <td>262.3 ha</td> <td>262.3 ha</td> <td>255.5 ha</td> </tr> <tr> <td>レンコン</td> <td>207.6 ha</td> <td>207.6 ha</td> <td>202.2 ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>●主要作物の平均単収</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実施前(2006)</th> <th>計画</th> <th>現在(2022)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水稻</td> <td>493 kg/10a</td> <td>493 kg/10a</td> <td>493 kg/10a</td> </tr> <tr> <td>レンコン</td> <td>1,188 kg/10a</td> <td>1,188 kg/10a</td> <td>1,240 kg/10a</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>農業用用水路を改修することにより、用水が安定供給され、概ね計画どおりの営農が行われていることから、本事業は農業経営の安定化に寄与していると評価できる。</p>					区分	実施前(2006)	計画	現在(2022)	水稻	262.3 ha	262.3 ha	255.5 ha	レンコン	207.6 ha	207.6 ha	202.2 ha	区分	実施前(2006)	計画	現在(2022)	水稻	493 kg/10a	493 kg/10a	493 kg/10a	レンコン	1,188 kg/10a	1,188 kg/10a	1,240 kg/10a
	区分	実施前(2006)	計画	現在(2022)																										
水稻	262.3 ha	262.3 ha	255.5 ha																											
レンコン	207.6 ha	207.6 ha	202.2 ha																											
区分	実施前(2006)	計画	現在(2022)																											
水稻	493 kg/10a	493 kg/10a	493 kg/10a																											
レンコン	1,188 kg/10a	1,188 kg/10a	1,240 kg/10a																											
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>																													

②事業効果の発現状況

【費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化】

項目		事業採択時 (2006)	実績 (2022)	備考
事業期間		2007～2016 (10年間)	2007～2018 (12年間)	
事業費 (億円)	工事費	14.1	18.6	
	用地補償費	0.5	0.6	
	その他	3.0	0.8	
	合計	17.6	20.0	2.4億円増
効果の 算定要因	作付面積(水稻)	262.3 ha	255.5 ha	6.8 ha 減
	平均単収(水稻)	493 kg/10a	493 kg/10a	
	作付面積(レンコン)	207.6 ha	202.2 ha	5.4 ha 減
	平均単収(レンコン)	1,188 kg/10a	1,240 kg/10a	52 kg/10a 増

【事業期間に対する評価】

補償に関する地元調整により2年延長したが、用水路の本体工については、計画どおりの期間内に完了した。

【事業費に対する評価】

工事中における用水の仮廻し水路の設置について、住宅地付近の一部区間において、住民から管を破損させてしまう恐れがあるとの意見があり、当初計画の露出配管から埋設配管に見直したことから、事業費が2.4億円増額となった。

【効果の算定要因に対する評価】

事業採択時と比較して、宅地等への転用により農地面積は減少しているが、用水路の改修により、地盤沈下に伴う能力低下は回復されているため、概ね計画どおり効果が発現していると評価できる。

なお、開水路をパイプライン化したことにより、施設管理者の維持管理についても軽減が図られた。

③事業実施による環境の変化

工事施工にあたり、低振動、低騒音の作業機械を使用するなど、周辺環境に配慮したため、生活環境への影響を抑えることができた。

Ⅲ 対応方針(案)

今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画どおり達成されているため、今後の事後評価は不要である。
改善措置の必要性	主要目標が概ね計画どおり達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	仮廻し水路が必要である場合、地域住民の生活への影響等を考慮した布設方法を検討することが必要である。

Ⅳ 事業評価監視委員会の意見

--

Ⅴ 対応方針

--